

平成 23 年度 日本設備管理学会秋季研究発表大会
第 3 回 検査・評価・保全に関する連携講演会

大阪市立大学 学術情報総合センター
2011 年 12 月 15 日(木)、16 日(金)

講演時間: 発表 15 分、質疑応答 5 分

12 月 15 日(木)			
09:30-17:00	受付		
	会議室 L	会議室 SA	会議室 SB
	ワークショップ 1: 津波対策評価ガイドライン オーガナイザー: 宮野 廣(法政大学)	企業展示 PR	
10:00-11:20	(1)日本保全学会の活動 津波対策評価ガイドライン策定の背景と経緯 宮野廣(法政大学) (2)津波対策評価ガイドラインの考え方 橋爪秀利(東北大学) (3)津波への対応-津波対策評価ガイドライン BWR、PWR 評価事例 織田満之(IOJ) (4)津波対策評価ガイドライン NISA 評価との関係、欧米の考え方との比較 伊藤邦雄 (JANUS)	IMV(株)、愛知機械テカシステム(株)、新川電機(株)、(株)セフテック (株)日鉄エルクス、(株)日本ジー・アイ・ティー、日本測器(株)、 日本ナショナルインスツルマンツ(株)、複合資材(株)、三木プーリ(株)	
11:20-11:30	休憩		
	特別講演1 司会: 奥村進(滋賀県立大学)		
11:30-12:30	リスク学から見た「想定」問題 木下 富雄 (財)国際高等研究所フェロー、京都大学名誉教授		
12:30-13:30	昼食		

12月15日(木)			
	特別講演2 司会:若槻茂(日本プラントメンテナンス協会)		
13:30-14:30	設備保全における危機管理への取り組み 四道 広 (社)日本プラントメンテナンス協会 主幹研究員		
14:30-15:00	休憩		
	ワークショップ2:発電プラントにおける状態監視 オーガナイザー:山口篤憲(発電設備技術検査協会)	人材教育セミナー(智恵リンピック)1 講師:丸山正男、豊田茂、橋本敏彦、樽野泰規、皆川健多郎	一般講演1:保全計画・保全技術 座長:丹波寛夫(阪神高速道路管理技術センター)
15:00-15:20	(1) 原子力発電プラントの状態基準保全と日本保全学会の状態監視技術開発への取り組み 山口篤憲(発電設備技術検査協会)	品質、コスト、安全などの維持向上を図る上で粉体の工学的基礎力をチーム演習により体得	クーラントタンクの最適化と管理に関する研究 松井康浩(名城大)、福田康明、杉谷卓志(荒川工業)、加藤大喜
15:20-15:40	(2) 回転機械設備の異常診断と寿命予測 陳山鵬(三重大学) (3) 回転機器の電磁診断と寿命評価技術の開発 角皆学(IIIU) (4) 転がり軸受の加速劣化試験 結果報告 -高感度・高精度な状態監視		設備の加工点保全に関する研究 -FFT アナライザーを用いた加工条件の探索- 早川優輝(名城大)、福田康明、杉谷卓志(荒川工業)、安田友也
15:40-16:00	手法(HLMD)に向けて- 宮田昇(トライボテックス)		リベット頭部が腐食したリベット継手要素の引張挙動についての実験的研究 藤本貴正(京大)、橋本国太郎、杉浦邦征、山口隆司(大阪市大)
16:00-16:20			既設鋼床版Uリブ突合せ溶接部に発生する疲労き裂と対策工法に関する応力解析 和田広之(京大)、橋本国太郎、杉浦邦征、丹波寛夫(阪神高速道路管理技術センター)、杉山裕樹(阪神高速道路)
16:20-16:30	休憩		
	ワークショップ3:交通インフラ構造物の震災復旧 オーガナイザー:山口隆司(大阪市立大学)	人材教育セミナー(智恵リンピック)2 講師:丸山正男、豊田茂、橋本敏彦、樽野泰規、皆川健多郎	一般講演2:最適化技術、設計・製造技術 座長:柘植義文(九大)
16:30-16:50	(1) 交通インフラ構造物の震災復旧 東北新幹線の被害と復旧 野澤伸一郎(東日本旅客鉄道)	品質、コスト、安全などの維持向上を図る上で粉体の工学的基礎力をチーム演習により体得	設備再配置問題解法のためのハイブリッドアルゴリズム 鈴木淳(高崎経済大)
16:50-17:10	(2) 東日本大震災高速道路における被害と復旧 木水隆夫(NEXCO 東日本)		修理を伴うリユースユニットの物理寿命分布が環境インパクトに及ぼす影響 奥村進(滋賀県大)、木村翔太、畑中裕司
17:10-17:30			リユース部品の物理寿命分布が環境効率に及ぼす影響 奥村進(滋賀県大)、杉村彩佳、畑中裕司
17:30-17:50			部品リユースを伴う環境配慮型製品のマルチエージェントを用いたフローシミュレーション 奥村進(滋賀県大)、加藤綾華、畑中裕司
18:10-20:00	懇親会(学内)		

12月16日(金)			
09:00-17:00	受付		
	会議室 L	会議室 SA	会議室 SB
	ワークショップ4: インフラ構造物のモニタリング技術と健全度診断技術 オーガナイザー: 山口隆司(大阪市立大学)	一般講演3: 評価・診断技術(1) 座長: 遊佐訓孝(東北大学)	一般講演4: システム・教育/検査技術(1) 座長: 奥村 進(滋賀県立大学)
9:30-9:50	(1) 走行車両を利用した構造物の安全性評価法 大島義信(京都大学) (2) インフラ構造物のモニタリング技術と健全度診断技術 宮下 剛(長岡技術科学大学) (3) 弾性波シミュレーション解析に基づくコンクリート内部欠陥の非破壊評価手法 内田慎哉(佐賀大学)	ポジティブコントラスト法を用いたMRIにおける腫瘍画像弱調 出町和之(東大)、朱海濤、関野正樹	情報システム保守工程における保守担当者交代タイミング判定要因に関する研究 — 企業Aの場合 — 大宮望(コニカミノルタ情報システム)、大場允晶(日大)、山本久志(首都大学)、丸山友希夫(沖縄国際大学)、中邨良樹(日大)
9:50-10:10		MSSA 法を用いた肺腫瘍の呼吸時動線の予測 出町和之(東大)、河合理城	英語学習 DS ソフトの評価に関する一考察 伴浩美(福井工大)、大藪多可志(金沢星稜大)
10:10-10:30		磁気利用センシングによる材質劣化・機械特性の非破壊評価 菊池弘昭(岩手大)	磁気式触覚センサの構造と基礎的評価 中本裕之(神戸大)、武縄悟(神戸市立工業高専)、小林太(神戸大)、小島史男
10:30-10:50		高速磁化過程に着目した電磁非破壊評価法に基づく改良9Cr-1Mo 鋼のクリープ損傷評価 澁谷健太郎(東北大)、内一哲哉、高木敏行、高屋茂(日本原子力研究開発機構)	光ファイバを用いたAEセンサの開発 高坂達郎(高知工科大)、逢坂勝彦(大阪市大)、澤田吉裕
10:50-11:00	休憩		
	ワークショップ5: 原子力発電所の保全水準 オーガナイザー: 青木 孝行(日本保全学会)	一般講演5: 評価・診断技術(2) 座長: 橋本国太郎(京都大学)	一般講演6: 検査技術(2) 座長: 増田 新(京都工芸繊維大学)
11:00-11:20	(1) 保全水準の評価としての保全管理指標 小川 誓(中国電力) (2) 津波対策設備の保全水準確保策 吉川 祐明(東北電力) (3) 保全水準に関する海外の動向 高瀬 健太郎(III)	鋼床版疲労き裂進展モニタリングの構築と現場適用 津田仁(共和電業)、上杉太郎、塚本成昭(阪神高速技術)、山上哲示、川上順子(、阪神高速道路)	段差や勾配のある環境におけるレーザレンジセンサ搭載型車両ロボットを用いた路面検査 田尻智紀(大阪市大)、大神麗、高田洋吾、今津篤志、川合忠雄
11:20-11:40	(4) 保全水準の基本的考え方 青木 孝行(JSM)	橋梁の長寿命化修繕計画における意志決定のための指標に関する一考察 保田敬一(ニュージェック)	ガイド波用圧電式リング形センサーで励起した円周 Lamb 波の共鳴を利用した肉厚測定法 片岡知弥(徳島大)、森田圭一、吉田憲一、西野秀郎
11:40-12:00		模型橋梁の車両走行実験による損傷推定 土井宏政(神戸大)、川谷充郎、金哲佑(京都大)	非接触空気超音波センサーによる円周 Lamb 波を用いた配管の精密肉厚測定 谷口優太(徳島大)、川野亜久利、西野秀郎、高橋雅和(ジャパンプローブ)、小倉幸夫
12:00-12:20		河川上に架かる鋼橋の板厚分布 保田敬一(ニュージェック)、Luiza H.Ichinose(日本工業試験所)	T(0,1) mode ガイド波を用いたエルボ管における欠陥検出性能評価 大日向竜二(徳島大)、溝淵裕貴、西野秀郎、古川敬(発電設備技術検査協会)
12:20-13:20	昼食		

12月16日(金)			
	ワークショップ6:設備安全に係る生産技術の役割と(東日本大震災に学ぶ)災害対策 オーガナイザー:川合忠雄(大阪市立大学)	一般講演7:評価・診断技術(3) 座長:出町和之(東京大学)	一般講演8:検査技術(3) 座長:小林義和(ニチゾウテック)
13:20-13:40	BCP(事業継続計画)ー東日本大震災に学ぶ災害対策 機械・設備安全に係る生産技術部門の役割 (1)岡部 紳一(東京海上日動リスクコンサルティング) (2)川池 襄(日本機械工業連合会)	ニューラルネットワークを用いた保温保冷配管の外表面腐食における最大減肉速度推算結果 武田和宏(静大)、松山久義(早大)、大島榮次(東工大)	応力発光シートを用いた橋梁鋼部材の変状検出能力 保田敬一(ニュージエック)、Luiza H. Ichinose(日本工業試験所)、寺崎正(産総研)、徐超男、坂田義太郎、張 琳、郭 強樹、Li Chenshu
13:40-14:00		電磁超音波共鳴法を用いた配管厚さ計測のための信号処理法と減肉配管への適用 梅谷浩介(神戸大)、小島史男、小坂大吾	フェイズドアレイ超音波法による可視性を高めた鋼床版デッキ貫通き裂の効率的な検査 塚本成昭(阪神高速技術)、山上哲示、杉山裕樹(阪神高速道路)、津田久義(日本工業試験所)
14:00-14:20		カルマンフィルタを用いた流れ加速型腐食による減肉進展予測モデルの拡張 小島史男(神戸大)、植田正裕	渦流探傷法による鋼床版デッキ貫通き裂の効率的な検査手法の開発 杉山裕樹(阪神高速道路)、塚本成昭(阪神高速技術)、山上哲示、奥野貢(日本電測機)、白石彰、山田隆明
14:20-14:40		極値統計法を用いた配管減肉領域の評価法 加藤翔(神戸大)、小島史男	非定常表面熱画像の逆解析による構造物中の欠陥イメージング 増田新(京都市芸繊維大)、鈴木勝也
14:40-14:50	休憩		
	ワークショップ7:東日本大震災による被害と復興の事例 オーガナイザー:松山久義(日本設備管理学会)	一般講演9:評価・診断技術(4) 座長:武田和宏(静岡大)	一般講演10:検査技術(4) 座長:中本裕之(神戸大学)
14:50-15:10	(1)自動車産業におけるマネジメントと設備管理ー震災復興と強いモノづくりカー小林 洋(日産自動車) (2)東日本大震災からの復旧、工場再稼働 中井 宏治(三菱化学)	周波数応答による水産物の非破壊食感評価法 太田博光(水産大)、笹田敬司、木村諭史、中村誠	データベースモデルを利用した仮想計測法の性能評価 大道智史(九大)、木村直樹、柘植義文
15:10-15:30		回転機械構造系異常の精密診断法ー準判別分析法による信号測定位置、周波数帯域および特徴パラメータの診断精度評価ー 陳山鵬(三重大)、一柳良太、李可、薛紅濤	渦電流試験法によるボイラーチューブのニッケル基溶射被膜の膜厚評価 高橋洋平(東北大)、浦山良一、内一哲哉、高木敏行、長沼宏(東北発電工業)、菅原一文、佐々木頼明
15:30-15:50		【ノイズ診断】による144台のインバータ診断 貝沼潤一郎(セフティップ)	積層薄膜の固相接合による模擬応力腐食割れ試験体製作技術の開発 遊佐訓孝(東北大)、橋爪秀利
15:50-16:10		フィールドバス通信対応型自動調節弁における固着現象のモデル化 岡本侑大(九大)、馬場岳彦、藤原朱実、木村直樹、柘植義文	ガイド波シミュレーションによるオリフィス下流域の減肉領域の推定法 小島史男(神戸大)、高橋良介
16:10-16:20	休憩		
	ワークショップ8:プラントライフサイクルにおける安全管理 オーガナイザー:澁野 哲郎(東京工業大学)	一般講演11:評価・診断技術(5) 座長:太田博光(水産大)	電磁超音波法を用いた配管減肉寸法計測に関するセンサ開発 田端大樹(神戸大)、小島史男、小坂大吾
16:20-16:40	(1)化学プラントの運転業務プロセスモデルの構築と適用事例 島田行恭(労働安全衛生総合研究所) (2)設備健全性管理システムのレビューと有効性の検証 境野 潔(日揮)	対話による故障事例分析の支援技術 八竹英紀(大阪市大)、井上良太、川合忠雄	
16:40-17:00		画像計測を用いた橋梁の損傷検知手法に関する研究 水本裕之(大阪市大)、川合忠雄	
17:00-17:20		動特性を利用したエアコンの診断 川合忠雄(阪市大)、串崎聖也(ミエデンシステムソリューション)	
17:20-17:40		管理図のJIS異常判定ルールを適用した診断技術 伊藤一夫(愛知機械)、山田康司	
17:40-18:00		あいさつ	